

【説教要旨】 2011年3月13日

出エジプト記20章3節、使徒言行録17章16～34節

「この神さまがいるからこそ」

地震の後、妙に思い起こされた聖句があります。詩編119編105節「あなたの御言葉は、わたしの道の光／わたしの歩みを照らす灯」。停電の間、ロウソクの明かりで過ごしましたが、本当に真っ暗闇の中を小さなともし火で歩むとき、ゆっくりにならざるを得ないものですね。急ぎ足といわず普段の歩速では火が消えかねないし、何より、その小さな明かりが周りを照らしていることを、目で確認できないのです。ゆっくり歩いてこそ、小さな光が照らす、次の一步の範囲をきちんと見定めることができる、暗闇の中に浮かぶ明るさを確認することができるのです。

今のわたしたちの状況がそうでしょう。秋田などの身近な地域の安全確認はできましたが、東北全体というような地域的また人のつながりをもつ次の範囲で安否の確認が取れない。そして、その安否によっていかにわたしたちが動くべきなのか、一步一步確実に進んでいかねばならないでしょう。

聖書の御言葉は、十戒の中にいよいよ入ります。十の戒めの第一のもので、多くが禁則で語られ、堅苦しいようにも思えます。しかし、次の例でこの恵みがお分かりいただけるでしょうか。子どもが遊ぶとき、どこまでも好きなところまで行っていい。あの車の交通量の多い道路を横切っても、不審な人や獣がひそんでいそうな茂みの中に入っても、いい。お前の好きなようにやれ、というのが、本当にその子のことを配慮している仕方でしょうか。むしろ、この公園の中、あの木とあの柵との間、その中でなら自由に遊んでいいと送り出すことこそが、真の配慮ではないでしょうか。十戒も、わたしたちが本当に自由に生きることを味わわせるために、のりを超えてはならない範囲を、神さまが明らかにしてくださっているのです。その範囲のなかでこそ、本当に自由に生きて、間違いがないのです。

否定の命令形で語られていますが、前文（わたしはあなたを救う神である、という自己紹介）をきちんとふまえるなら、他の神々、それこそ人間自身がこうであればいいとの願望を投影するような偶像を持たずともいいではないか、という意味合いです。裏を返せば、イエスさまも一番大事な教えだと言われた「……あなたの神、主を愛しなさい」（申命6：5）になるでしょう。

「人が独りでいるのは良くない」（創世2：18）というのは人のパートナーに先立って言われた神さまの言葉ですが、それが実際にいる人にもいない人にも、神さま御自身がその人の人生、その人が生きることに全体に関わるパートナーになってくださいます。なぜ人が独りでいるのは良くないのか。それは、人間が基本的に応答する存在だからです。語りかけることに、応じる。その関係を築いてこそ、人は動いていける、生きていけるのです。それこそ地震のような危機的状況のとき、独りでいることが怖くなります。できれば顔と

顔を合わせ、それこそ肌と肌が触れ合うほど身近な関わり合いを求めることでしょう。それがかなわなくても、安否を問い合わせ、電話などの情報のやりとりだけでも人と人との関わり合いを必要とする——それが、人間の生き方です。

神さまは本当にわたしたちのことを気遣う御方です。出エジプトを実際に成し遂げた——それすなわち、あなたが奴隷のように苦しめられている状態から、脱出させるために力を奮う——御方です。この神さまを知るとき——単に知識として知るのでなく、わたしの人生のパートナーとして関わり合うとき——他のいかなる神々をも必要としないはずなのです。それだけの恵みを持ち、与えてくださる御方なのです。

今現在のわたしたちの不安、心に抱え込まざるを得ない苦しみを、神さまは見聞し、つぶさにご存知でいてくださいます。それは、出エジプトの神さまは、予め見聞きしたことに基づいて、エジプト脱出を実現されるからです（出エジプト 2：23～25， 3：7～10）。だから、わたしたちの神さまが出エジプトの神さまである限り、罪と死との奴隷状態からも解放してくださる神である限り、わたしたちがこの世で味わうどのような悲惨さ、辛さ、耐え難い思いをも、大胆に神さまの前に訴え出ればいいのです。そして、今の自分たちより更に苦しみを味わっている人々のことをも覚えて、また、人の力ではどうしようもない苦境のことをも、神さまに訴え出ればいいのです。

神さまは、定められた時、定められた仕方で、救いの道を拓かれます。かつてモーセを通して拓かれたように、また、確かな根拠としてイエスさまを十字架ですべての人の罪の報いで滅ぼし、すべての人の新しい命のために復活させたように、この罪と死からの解放によってわたしたちの前にも道を拓いてくださるはずなのです。

地上に、人間の思惑にだけ縛られていれば、知ることのできなかつた神ですが、聖書の歴史に基づき、また、何より主イエス・キリストの啓示に基づいて、この出エジプトの神で十戒の前文のごとく「あなたの神」という関係に立つ御方を、「わたしの神」にすることができるのです。そのとき、わたしたちは神さまの恵みの中、守りの中で生きることができ、希望の光に照らされた道を辿ることができるのです。